

日本各地で国際的活動を行う皆様を支援するメールマガジン

# グローバル通信12月号

## 外務省地方連携推進室



第190号 令和6年12月

外務省地方連携推進室  
運営ホームページ

[グローバル外交ネット](#)を  
ご覧ください!!



### 第52回駐日外交団による地方視察ツアー（福島県）



内堀雅雄知事との集合写真



放射線測定器を活用して中間貯蔵施設の安全性を確認



梨狩りの様子

10月10日及び11日、外務省は福島県との共催で、駐日外交団による地方視察ツアーを実施し、13か国から15名の大使他が参加しました。福島の「復興」をテーマに、東日本大震災・原子力災害からの復興の歩みと現状や水素エネルギー研究、福島県の産業、観光、食、特産品等について理解を深めるため、関連施設等を視察しました。

[【第52回駐日外交団による地方視察ツアー（福島県）】の詳細](#)

### パラリンピアンとの交流を通じて育まれる三鷹市とチリの友好関係



チリ外務省で、三鷹市からの応援メッセージを受け取るパラリンピアン達と伊藤大使およびアリアラン・チリ外務省アジア局長



三鷹市中学生たちの手書きメッセージ

# 天

文学がきっかけで始まった東京都三鷹市とチリ共和国の友好関係は、2020年3月、東京2020大会におけるチリのホストタウンとして登録され、同大会に向けた事前キャンプに関する協定を同市とチリのパラリンピック委員会と締結することで1つの形となりました。残念ながらコロナ感染症の関係により、直接的な交流は実現しませんでした。本年に開催されたパリ五輪の機会を利用した交流が実現しました。本稿ではその模様をお伝えします。

[【パラリンピアンとの交流を通じて育まれる三鷹市とチリの友好関係】の詳細](#)

### 高校生が紡いだ姉妹都市交流—豊明市とガブロヴォ市（ブルガリア）—



覚書に調印した両市長



日本文化の日で書道を披露



ブルガリアの民族衣装を着て市内を散策

# 愛

知県豊明市とブルガリアのガブロヴォ市の交流は、2005年の愛知万博の際に、豊明市がブルガリアのホストタウンであったことをきっかけとして始まりました。2017年頃からは高校生同士の交流や市長同士の往来を通じて関係が深まり、本年7月姉妹都市提携に至りました。提携の日には、「日本文化の日」として、ガブロヴォ市に短期留学中の豊明市の中高生10名も参加し、日本の食べ物や伝統文化などを紹介しました。

[【高校生が紡いだ姉妹都市交流—豊明市とガブロヴォ市（ブルガリア）—】の詳細](#)

## タイ人観光コーディネーターとして、 山梨県北杜市の観光振興への取り組み

## モルックで広がる国際交流



タイ旅行会社ファミトリップの実施



富士山を眺めることのできるスキー場



2024モルック世界大会in函館の試合会場



8月23日に行われた国別対抗戦



フィンランドウィークエンドのブース

# タ

イ王国外務省国際協力機構(Thailand International Cooperation Agency;TICA)が実施する国際協力ボランティア派遣事業「フレンズfromタイランド(Friends from Thailand)」(FFT)の一環で、昨年12月にタイのソクラエー県から来日し、現在は同市観光課で観光コーディネーターとして活動しているアンチャーリーポン・パリサウォンさんより、日本での活動の様や同市の魅力などを寄稿頂きました。

[【タイ人観光コーディネーターとして、山梨県北杜市の観光振興への取り組み】の詳細](#)

# モ

ルックはフィンランド発祥のスポーツで、最近では全国各地で老若男女に親しまれています。2024年8月、北海道函館市でモルック世界大会が開催され、世界各地の選手や函館をはじめとする日本各地の選手らがモルックを競技しながら、お互いの国や地域について紹介し合うなど、国際交流を深める機会になりました。また、会場にはフィンランドを紹介するブースが設置され、フィンランドのSDGsの取り組みや食生活や文化に函館市民が触れる機会にもなりました。

[【モルックで広がる国際交流】の詳細](#)

～ 地方連携推進室から ～

●吉澤外交実務研修員からの寄稿

[寄稿の詳細](#)

次回配信は2025年1月6日の予定です。グローバル通信に是非ご登録ください  
登録は[メールマガジン「グローバル通信」](#)より「メールアドレスの登録」をクリック！  
ご意見やご質問は [gaimu-renkei@mofa.go.jp](mailto:gaimu-renkei@mofa.go.jp) までお願いいたします。

